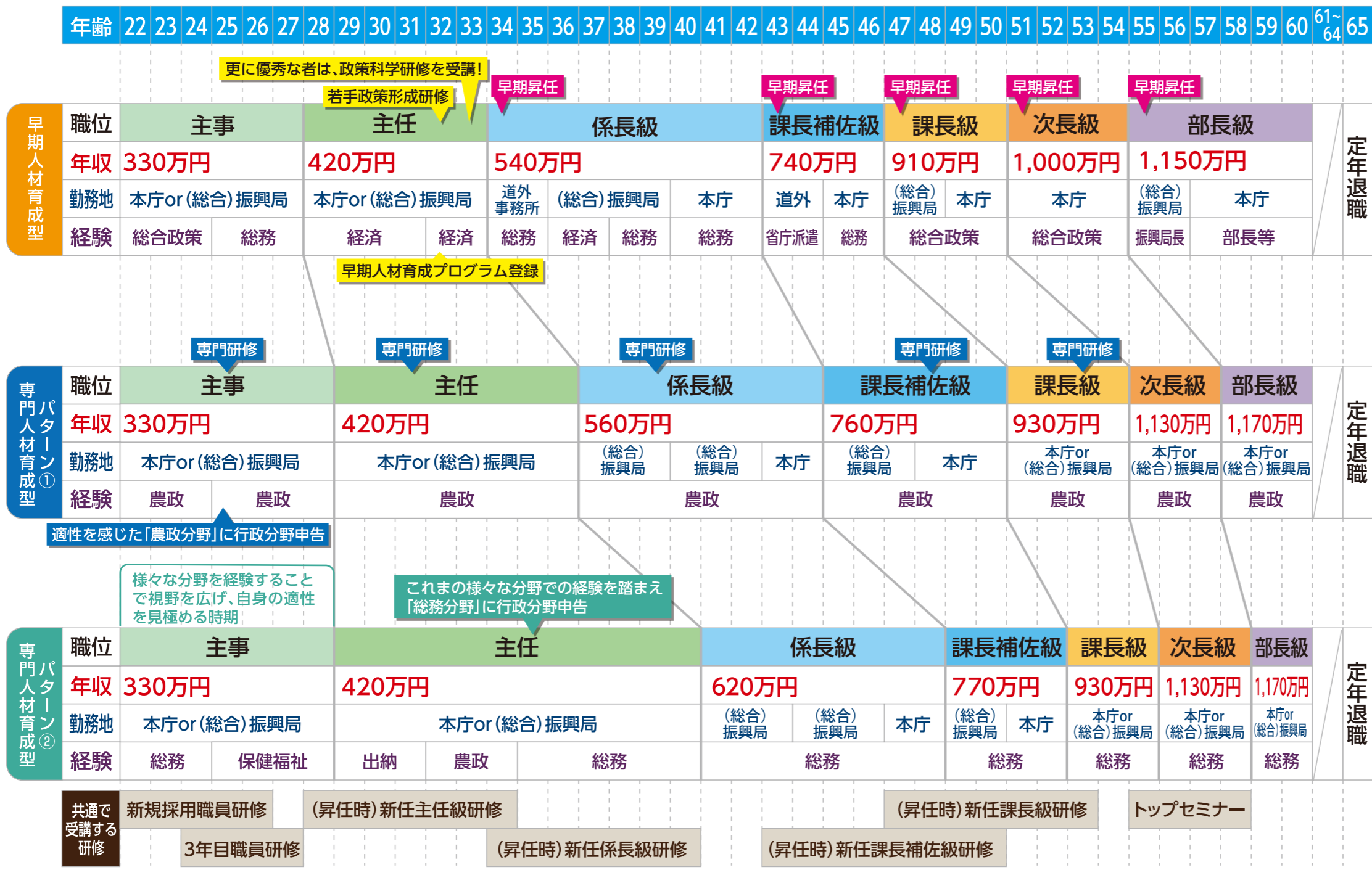


# ▼ 一般行政職キャリアパスモデル図 ▼



**早期人材育成型** 早期人材育成プログラム登録者  
 高い意欲と能力を有し、将来が見込まれ、道政の中核で活躍することが期待される若手職員は「若手人材育成プログラム」に登録される。特に優秀と認められる者は、環境の変化に対応した道行政を推進するために必要な政策策定理論の習得と、政策形成能力の向上を目的とした「政策科学研修」の受講や、省庁や民間企業等への派遣、政策企画部門への配置など、多様な経験を付与し育成。早期昇任も!

**専門人材育成型 パターン①** 早期に専門性を見いだす人  
 入庁前から希望していた行政分野であったり、業務経験により適性を感じた業務分野を、今後のキャリアの基軸とすることを申告できる(行政分野申告)。行政分野申告後は、その行政分野を基軸に専門知識と経験を積む。早期に専門性を見いだせれば、その分だけ早期から専門性を磨くことができる!

**専門人材育成型 パターン②** 異動を繰り返しながら専門性を見いだす人  
 自分に適性のある分野は何か、様々な業務分野を経験したい方は、こちら。(総合)振興局、本庁等での様々な経験を通して、自身に適性のある業務分野を見極め、じっくり検討することも可能。

適性を感じた「農政分野」に行政分野申告  
 様々な分野を経験することで視野を広げ、自身の適性を見極める時期

これまでの様々な分野での経験を踏まえ「総務分野」に行政分野申告

共通で受講する研修  
 新規採用職員研修 3年目職員研修 (昇任時)新任主任級研修 (昇任時)新任係長級研修 (昇任時)新任課長補佐級研修 (昇任時)新任課長級研修 トップセミナー